

ATSUMA LOVERS

—昨年12月、明日への厚真の“愛”ことば「ATSUMA LOVERS」が誕生しました。明日に向かって互いに支え合い、心ひとつに前へ進む厚真の心意気を表した言葉です。

心豊かな人や雄大な自然など、厚真町にはさまざまな魅力が溢れています。4月に着任した町の広報担当者が、取材で出会ったATSUMA LOVERSを紹介します。

初回は、4月から厚真中央小学校の校長として赴任された吉岡ゆかりさんに話を聞きました。



厚真中央小校長
Vol.01 吉岡ゆかりさん(55歳)

厚真町のすべてが魅力です

の児童からもらった数株のフクジュソウは、今も大切な思い出で、新しい名刺には、満開の花の写真が印刷されていた。

前任地に続き、校長職は2度目。常に最適な判断力を追求する。「昨日の児童への対応は、あれで良かったのだろうか」と、自問自答することも多い。1日5冊の本を読み、社会情勢にも目を向けて、正確な情報を見極める。「考えることは好き。飼っている2匹の猫から、教わることもありますよ」。

6年前と比べて、学校の変化も感じている。「自己表現力が高い子どもが増えました。お互いを知らなければ、なかなか自分を表現するのは難しい。先生も同じ。コミュニケーションを大切にしていきたい」。吉岡さんの言葉には、児童と教師が丸となった、笑顔が絶えない元氣な学校像がにじんでいた。



坂道を進み、時々エゾリスが姿を見せる厚真中央小学校を訪ねた。教職員歓迎式で、吉岡さんが自己紹介した際、緊張感が漂う中にも教育者としてのパワーや人としての包容力の豊かさを感じた。

苫小牧市出身。旧鹿沼小学校を皮切りに胆振管内の小学校に勤務し、今回が9校目になる。6年ぶりに前任の苫小牧市立勇払小学校から戻ってきた。祖母の家が厚真町にあり、幼少時代

から厚真町との縁は深い。子ども3人の5人家族で、現在は子ども2人が独立して3人で暮らす。

「いつぞ、入ってください」。校長室から、明るい声が響いてきた。知人にあつたかのような気さくな人柄で、すぐに会話が弾んだ。

久しぶりの町の印象は、「ほか(の地域)とは違う温かい色」。フクジュソウのような薄黄色のイメージという。かつて、町内

あなたにとっての
愛すべき厚真を投稿してください

ATSUMA LOVERS

フェイスブック
@atsumatownhokkaido

Instagram
atsumalovers

ハッシュタグ #atsumalovers をつけてフェイスブックまたはInstagramに投稿してください。